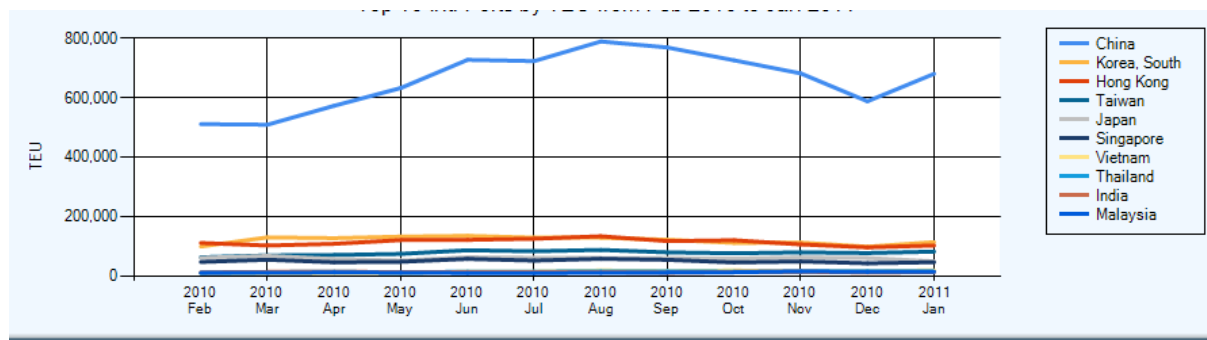


米国通関統計 1月輸入実績速報

ゼポ発表；アジア発1月は前月比+11.2%、前年同月比+16.2%

1月の中国・韓国発は12月より16%近い増加、日本は18%減



Source; Zepol Corporation-TradeIQ*

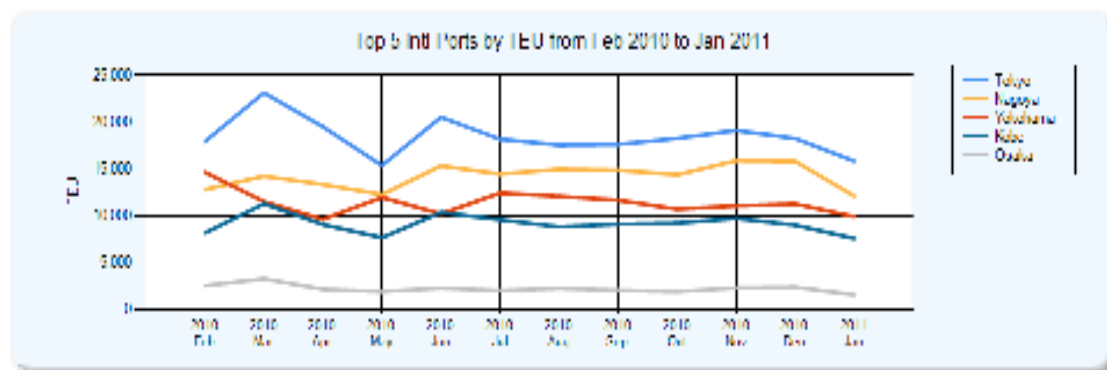
Zepol (ゼポ) Corporation (本社・米国ミネアポリス www.zepol.com) は、2月6日、米国税関 AMS・B/L データ(*Note)を基に、米国海上輸入1月実績をまとめ発表しました。

それによると、1月の米国海上輸入世界合計は前月比 7.7%増、前年同月比では 17.6%の増加でしたが、アジア主要10カ国発 (B/L・Loading Port ベース TEU)は、先月よりも 11.2%増加となりと12月の減少分(-11.2%)を戻したかたちです。特に中国は 15.8%の増加 (先月-13.7%)で、韓国も 15.5%(先月-11.7%)と大きく戻し、香港、台湾もそれぞれ 6.3%, 6.2%のプラスでしたが、日本は逆に 18.4%のマイナス (12月は-2.8%) となりました。(表1参照)

日本の釜山 T/S 分も 11.8%の減少で、釜山経由の各国分に比べて日本だけがマイナスとなりました。(表2参照)

日本港からの直接の積み出し分も東京・名古屋・横浜・神戸・大阪など主要港が揃って例年よりも大きなマイナスでした。

参考チャート 日本港積み出し米国向けTEU月別トレンド (過去12ヶ月)



Source; Zepol Corporation-TradeIQ*

別表1 アジア主要10カ国発 米国向け TEU (母船積地ベース)

USA Import from Asia Top 10 - January 2011			
Top 10 Countries Loading Port ベース	January 2011 (TEU)	前月比 (%)	前年同月比 (%)
1. China	681,243	15.8	21.0
2. Korea	114,118	15.5	10.6
3. Hong Kong	102,704	6.3	- 0.1
4. Taiwan	82,066	6.2	24.3
5. Japan	49,338	-18.4	3.6
6. Singapore	46,486	8.8	1.4
7. Vietnam	18,850	13.8	125.1
8. Thailand	14,839	- 6.7	38.5
9. Malaysia	13,967	1.7	4.1
10. India	13,102	8.7	28.4
Asia Top 10 Total	1,136,713	11.2	16.2

Source; Zepol Corporation-TradeIQ*

別表2 釜山港 T/S 1月 国別 TEU と前月比

Place Receipt 荷受地ベース	January 2011 TEU (Share %)	前月比 (%)
1. Korea(自国分)	57,137 (53.9)	5.7
2. China	36,179 (34.3)	18.4
3. Japan	4,045 (3.8)	-11.8
4. Vietnam	2,027 (1.9)	14.2
5. Taiwan	1,544 (1.4)	44.8
Top 5 Total	100,932 (95.3)	
Pusan Total	105,943 (100)	21.2
Korea Total	114,118	15.5

Source; Zepol Corporation-TradeIQ*

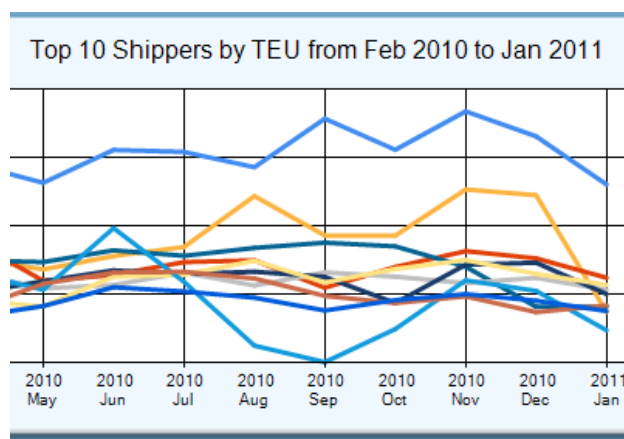
上記の日本主要港の 18.4%の減少に関して、リーマンショック前の 12 月—1 月の実績をみると、2005 年 -3%、2006 年 -5%、2007 年 -2%、と例年 1 月は下げてから 2 -3 月に上向く傾向ですが、減少幅は小さく収まっていました。(以上)

??? Zepol (ゼポ) TradeIQ とは ???

- * Zepol TradeIQ は、米国税関から公表される AMS (Automated Manifest System) B/L 記載データを Zepol (ゼポ) が独自開発した検索エンジンによりデータベース化した米国貿易統計データです。
- * 毎日数万件に及ぶ全米各港からの B/L 情報が 2003 年以來、既に 9 千万件蓄積されており、各自のパソコンから簡単にアクセスし、検索・作表・ダウンロードが可能で、IT のパワーをフルに活用した速報性を追求した分析ツールです。
- * PC 画面上で B/L #, Shipper, Consignee, Ports, Carrier, Products, Weight, TEU などの個別 B/L 記載項目のマトリックス分析が可能になっています。
- * 又、Container Type, LCL/FCL, Empty/Loaded, FROB 貨物、などの区分も可能で目的に応じた分析が出来ます。
- * 毎月、約 40 日後に発表される商務省統計に先立ち、前月の米国輸入動向を翌月上旬には把握できる「一番早い米国貿易統計」です。
(ただし、公式データである AMS 記載内容を忠実にそのままデータベース化し、TEU もそれに基づいて推計していますが、もしも AMS 記録内容に誤りとかダブルカウントなどがあれば、その通り含まれる可能性はあります)
- * 統計情報としての公的な価値に加えて、米国情報公開法により入手可能となっている個別 B/L 記載データは希少価値の高い事実情報源です。ゼポのクライアント企業、ポートオーソリティなどを含む公的機関に於いては、例えば国別、港別のトレンド分析から、すぐに荷主、相手港、輸入先、船社/NVOCC、品目・数量などアクチュアル情報への掘り下げを行いアクションに結び付けています。統計分析ツールであると同時に市場競争の為のツールとして使われています。

(www.zepol.com 参照)

参考チャート；主要輸出企業 10 社の TEU トレンド



Source; Zepol Corporation-TradeIQ*

本リリースの内容と Zepol (ゼポ) に関するお問い合わせ先：

日本：Zepol Japan mnanseki@zepol.jp

Copyright © Zepol Corporation. All rights reserved